

総合計画進行管理(施策評価)シート(対象:H24年度)

記入例

施策名	保健活動			後期基本計画の見出し(資料2-2参照)と一致	施策コード	422
担当部	市民健康部	担当課	健康づくり推進課	その他担当組織	高齢者福祉課	

1. 施策概要

めざす目的成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診査、保健指導及び生活習慣病予防のための啓発活動を実施する</li> <li>感染症の流行防止のために予防接種を実施する</li> <li>精神保健に関わる相談・サポート体制を強化する</li> </ul>	実績施策の実施を通じて「市民や地域がどのような状態になるのか」を表示
施策内容	市民の生活習慣病・感染症の予防と、精神保健の充実を図る。	上記の「めざす目的成果」を実現するために、「どのような活動を行うのか」を表示

2. コスト・財源内訳 実績に基づき、予算・決算額を記入

		単位:千円	H 23 年度決算	H 24 年度決算	H 25 年度予算
コスト	事業費		297,242	419,340	419,340
	人件費		33,337	33,724	33,724
	総事業費		330,579	453,064	453,064
財源内訳	国庫支出金	国・県から市に対して特定の事業の実施などのために支出される補助金・交付金・委託金など	67,020	84,174	84,174
	県支出金		1,050	1,354	1,354
	地方債	市が必要な財源を調達するために負う債務(国債の地方版といえるもの)		0	0
	その他特定財源	介護保険料、下水道使用料など受益者が納入する料金や基金など	22,094	25,538	25,538
	一般財源	市税などの収入で用途が決められていない財源	239,465	341,038	341,038
財源合計			329,619	452,104	452,104

3. 事務事業の分析

主要施策	(1) 生活習慣病予防の推進					
事務事業名	事務事業評価の結果				外部評価の実施状況	世界最高健康都市構想との関連
	方向性	事業費	労働量	取組方針(H 25 年度以降)		
健康診査等事業	見直し 継続	↑	↑	健診に関する情報提供の充実と実施方法・実施項目の見直しを行う。	未実施	—
「施策の主な取り組み」(資料2-2参照)について、進捗状況を記入						

- ① 方向性： 翌年度以降の事業のあり方について表示(「現状のまま継続」、「見直して継続」、「休止」、「廃止・中止」、「完了」のいずれか)
- ② 事業量・労働量： その事務事業の事業量と労働量が、今後どのように変化するかを見込みの表示(増加「↑」、横ばい「→」、減少「↓」のいずれか)
- ③ 取組方針： その事務事業に対する今後の改善点、変更点、留意点などを表示
- ④ 外部評価の実施状況【参考】： その事務事業が過去に事業仕分けや外部評価(行政改革推進委員会が実施)の対象になったことがあるかを表示
- ⑤ 世界最高健康都市構想との関連【参考】： その事務事業が「佐久市世界最高健康都市構想実現プラン」のリーディングプロジェクトに指定されているかどうかを表示

主要施策	(3) 感染症予防対策の推進					
事務事業名	事務事業評価の結果				外部評価の実施状況	世界最高健康都市構想との関連
	方向性	事業費	労働量	取組方針(H 25 年度以降)		
予防接種事業	見直し 継続	↑	↑	今後の国の動向に留意しつつ接種費用の助成や集団接種等を継続。	未実施	—
結核予防事業	現状継続	→	→	BCG予防接種及び健診車による健診を継続し、今後も周知を図る。	未実施	—

主要施策	(4) 精神保健の充実					
事務事業名	事務事業評価の結果				外部評価の実施状況	世界最高健康都市構想との関連
	方向性	事業費	労働量	取組方針(H 25 年度以降)		
こころの健康推進事業	見直し 継続	↑	↑	民間委託等の可能性を検討しつつ関係機関・周辺市町村と協働を進める。	未実施	リーディングプロジェクト

◆簡易管理		
主要施策	事務事業名	事業の性質
【参考】市による評価になじまない事務事業（例：法により実施が義務付けられている事業）について別途記入		
過去のアンケートでこの施策が市民から次のいずれの認識をされたかを表示 「力を入れる必要性が高いと考えられる施策」 「現状維持が妥当と考えられる施策」 「状況をみた取組が必要と考えられる施策」 「力を入れる必要性が低いと考えられる施策」		

4. 施策の進捗状況と今後の方向性

	前々回調査(平成20年度)	前回調査(平成22年度)	最新調査(平成24年度)
市民アンケート結果の推移	満足度指数( 3.21 ) 重要度指数( 4.23 ) エリア II 満足度「高い」重要度「高い」 ⇒ 現状維持が妥当と考えられる施策 	満足度指数( 3.25 ) 重要度指数( 4.00 ) エリア IV 満足度「高い」重要度「低い」 ⇒ 力を入れる必要性が低いと考えられる施策 	満足度指数( 3.23 ) 重要度指数( 3.95 ) エリア IV 満足度「高い」重要度「低い」 ⇒ 力を入れる必要性が低いと考えられる施策 
結果の分析	満足度指数は、前回調査に比べて微減しているが、市の施策の中では比較的高い方であり、検診や生活指導の実施等の保健活動に対し一定の評価が得られていると思われる。一方、重要度指数は、調査年度ごとに減少しており、市の施策の中でも比較的低い方であるため、保健活動の必要性に理解が得られていないと思われる。		

市民アンケート結果の推移について、なぜそのようになったと思われるのかを記入

5. 後期基本計画「目標」の進行状況

項目	単位	現状値	目標値	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合	%	25.2 [H22]	15.2	24.9				
「目標」(資料2-2参照)の達成状況について記入								

6. 後期基本計画「チャレンジ!!」の進行状況

チャレンジ!!内容	住みやすい社会を目指し、多様な悩みを抱える方を支援する絆を拡大するなど、「生きるための支援」に取り組むことにより、自殺者0人を目指します。	種別	C 新しい仕組みづくりプロジェクト
取り組み状況	随時の相談事業に加え、毎月「こころの相談日」を設け、保健師・精神保健福祉士が相談に応じた。また、「ゲートキーパー養成研修会」や「こころの健康を守るシンポジウム」を開催し、地域ぐるみで生きるための支援に取り組めるよう、自殺防止の普及啓発を行った。		
今後の見通し	今後も相談事業を継続するとともに、自殺予防に関わる人材育成のため、ゲートキーパーの養成を行う。また、自殺防止の普及啓発のため、関係機関や周辺市町村との連携を強化する。 「チャレンジ!!」(資料2-2参照)について取り組み状況を記入		

7. 課題と今後の方向性

課題	保健活動の必要性が十分に理解されていない。	シート全体の総括として、現在の課題と今後の方向性(改善点、変更点、留意点など)について記入
施策展開の方針	健康は自然に与えられるものではなく、年齢や体力、生活環境に応じて各自が積極的に維持することが必要であるとの認識を市民が共有できるよう、各事業に参加型・対話型の要素を入れる。	
対応方策	・ゲートキーパー養成講座の開催回数を増やす。 ・健診受診や感染症予防の啓発事業に、保健補導員会の参画を得る。	